

目次

はじめに	1
目次	2
本書の使い方	4

第1章 相談対応で知っておきたい制度とポイント



障害

【1】障害

1. 概要	6
2. 主な相談窓口	6
3. 関連する制度・サービス等	7
4. 外国人対応のポイント	11
事例 障害があっても日本で暮らしたい	12
事例 発達の遅れを心配する親への支援	14
事例 精神的に不調な人への支援	17



老後を支え合う

【2】老後を支えあう

1. 概要	20
2. 主な相談窓口	21
3. 関連する制度・サービス等	22
4. 外国人対応のポイント	25
事例 認知症が疑われる場合	26
事例 介護サービスを使いたくない	28
事例 日本で外国人が亡くなったとき	32
事例 外国人高齢者の老齢年金	34



在留資格

【3】在留資格と制度・サービス

1. 概要	36
2. 主な相談窓口	36
3. 制度・サービス等利用一覧	37
事例 技能実習生からの相談	38
事例 難民申請	40
事例 非正規滞在について	42



宗教

【4】宗教や文化と福祉サービス

1. 概要	44
2. 主な宗教の特徴と必要な配慮	44
3. 個人の思想や価値観と文化	45
事例 宗教に関して気を付けること	46
事例 埋葬について	47

第2章 各国の情報

インドネシア	50
韓国	51
タイ	52
中国	53
ネパール	54
フィリピン	55
ベトナム	56
アメリカ	57
ブラジル	58

ペルー	59
各国の概要	60
第3章 関係機関一覧	
愛知県内の児童相談所	62
愛知県福祉相談センター	62
愛知県内の保健所	63
愛知県内の療育機関	64
愛知県内のその他、障害者福祉に関する相談窓口	65
愛知県内の高齢者福祉に関する相談窓口	66
愛知県内の市区町村社会福祉協議会	66
愛知県内の年金事務所	67
市町・市町国際交流協会	68
専門相談窓口	71
民間団体	73
外国人数上位10か国の在日公館(愛知県を管轄区域とする在日公館)	73
第4章 社会福祉と外国人に関する資料	
社会福祉に役立つ多言語・多文化資料	76
・障害に関する資料	76
・高齢に関する資料	76
・宗教に関する資料	79
・在留資格に関する資料	80
・全体に関わる資料	81
指差し対訳一覧	82
ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語/タガログ語	82
ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語	88
データで見る外国人の状況	94
引用・参考文献	100
索引	109
多文化ソーシャルワーカーについて	110
公益財団法人愛知県国際交流協会(AIA)の関連事業	111

- ◆ 外国人住民には、外国籍の人々だけでなく、日本国籍を持ちながらも、外国につながる人なども含まれ、呼称についても様々あります。(→上巻P.8)本書では、「外国人」としています。
- ◆ 在留資格を持っていない状態について、やむを得ない状況の人もいることから、外国人を支援する団体は「非正規滞在」と呼んでおり、本書でも「非正規滞在」としています。なお、法務省は、「不法滞在」としています。
- ◆ 本書で使用している外国人数は、原稿作成の関係上、特に記載のない限り、法務省「在留外国人統計」の2022(令和4)年6月末現在のデータを使用しています。
- ◆ 事例については、必要な場合に限り国籍を記載していますが、国籍に対して固定観念や偏見を持たないようご注意ください。

参考：相談員のための多文化ハンドブック=社会福祉編=上巻

第1章 社会福祉と外国人相談に関する基礎知識	6-16
第2章 相談対応で知っておきたい制度とポイント	
【1】生まれる・育てる	18-33
【2】生活する	34-49
【3】病気・医療	50-58
第3章 関係機関一覧	60-70
第4章 社会福祉と外国人に関する資料	72-96